

team hat Magazine

hat | 橋本総業ホールディングス 2026.01 VOL.26

テニス日本リーグ1stステージ 男子チームは新メンバーで好発進



1 今季の男子チームのメンバー。2 賴れるリー・ツがシングルス1でチームを牽引。3 新メンバーのビツウンテアン 零朗

第40回テニス日本リーグが開幕し、2025年12月4日から7日にわたり、ブルボンビーンズドームで1stステージが行なわれた。

男子チームはリー・ツがシングルス1として復帰し、ビツウンテアン零朗、三井駿介が新加入している。台風の目となつた山喜には敗れたものの、三菱電機からは勝利を挙げて、3勝1敗で1stステージを終えた。杉山紀一監督は、「皆様からの温かく情熱あるご声援のお陰で日本リーグで何度も優勝した三菱電機に勝つことができました。福田のシングルスからスタートしましたが、全ての試合がファイナルタイブレークでの激戦になりました。グランドスラム大会でアルカラスから1セットを取り素晴らしい戦いを見てくれたシングルス1のリーが清水選手に最後までどちらが勝つかわからない戦いで素晴らしいファイトを見せてくれました。そのリーの勝利で奮起した、吉村と新しくチームに入ったレオがダブルスで勝ってくれました。4年目の吉村の成長は、本当にうれしく感じております」と、三菱電機戦を振り返った。今後に向けて「橋本会長が作ってくれたこの素晴らしいチームで必ず優勝します」と気合は十分だ。

橋本総業ホールディングス・男子結果

12月4日(木)

| | | |
|--------------------|-----------------|------------|
| 橋本総業ホールディングス | 1-2 | 山喜 |
| S1 リー・ツ | 7-6(8) 4-6 7-10 | ジェイソン・クブラー |
| S2 吉村 大生 | 6-2 6-3 | 小林 良徳 |
| D 河内 一真/ビツウンテアン 零朗 | 6-7(6) 4-6 | 竹島 駿朗/堀江亨 |

12月5日(金)

| | | |
|-------------------|---------|----------------|
| 橋本総業ホールディングス | 3-0 | ルーセントアスリートワークス |
| S1 リー・ツ | 6-0 6-3 | 矢ノ川 歩 |
| S2 福田 創楽 | 6-0 6-2 | 油布 将也 |
| D 吉村大生/ビツウンテアン 零朗 | 6-2 7-5 | 福田 勝志/中村 侑平 |

12月6日(土)

| | | |
|--------------------|-----------------|------------|
| 橋本総業ホールディングス | 3-0 | 九州電力 |
| S1 リー・ツ | 6-1 6-4 | 山尾 玲貴 |
| S2 福田 創楽 | 6-1 6-2 | 宮田 陸 |
| D 河内 一真/ビツウンテアン 零朗 | 5-7 7-6(1) 10-8 | 其田 恵/古賀 大貴 |

12月7日(日)

| | | |
|--------------------|-----------------|------------|
| 橋本総業ホールディングス | 2-1 | 三菱電機 |
| S1 リー・ツ | 7-6(5) 3-6 10-6 | 清水 悠太 |
| S2 福田 創楽 | 6-3 1-6 4-10 | 高橋 悠介 |
| D 吉村 大生/ビツウンテアン 零朗 | 2-6 6-1 10-5 | 丹下 将太/大田 空 |

女子2チームは実力を発揮し無敗で1stステージを終える

女子は例年通り「橋本総業ホールディングス」と「橋本総業」の2チームが出場。前回の日本リーグで優勝している「橋本総業 HD」と3位だった「橋本総業」は共に1stステージで9試合全勝して実力を示した。

「橋本総業ホールディングス」はほぼメンバーを変えずに3連覇を狙う。小畠沙織監督は、「2025年はグランドスラム出場、全日本選手権優勝、数々の国際大会ダブルス優勝など、チーム所属選手の活躍が素晴らしい一年となり、確実に実力を上げ結果を出してくれています。日本リーグ1stステージでは、勝利へしっかりと自覚を持って1人1人がベストパフォーマンスで、集中力の高さを改めて実感させてくれた試合となりました」と、メンバー個々の実力がアップしていることがチーム力の底上げになっていることに言及。2ndステージに向けて、「さらにチーム力を上げ、より集中力を持って、全力で望みたいと思います」と気を引き締めている。

「橋本総業」はメンバーの入れ替えがあった。シングルス

として筑波大学在学中にプロ転向した22歳の吉本菜月が新加入し、19歳の北原結乃が「橋本総業 HD」から「橋本総業」チームへ移動となった。井上明里監督は「1stステージでは吉本菜月選手と大前綾希子選手が特に存在感を発揮してくれました。その中でも吉本選手のプレーは、チームに新しい風を吹かせると共に、勢いをつけるパワフルなプレーが印象的でした。新規メンバーはこれまでよりかなり若い世代になっていますが、それぞれの持ち味を理解し、日々成長していく姿が頼もしく、今後の活躍がとても楽しみです」と、新チームとして好スタートを切った。2ndステージに向けて、「全勝でリーグ戦を勝ち抜けるよう、チーム一丸となり、最大限の準備をしていきたいと思います」。前回の3位以上の結果を狙っている。

| | |
|--------|--|
| スケジュール | 2ndステージ 会場：横浜国際プール 日程：男子 1月21日(水)～25日(日) 女子 1月24日(土)、25日(日) |
| | 決勝トーナメント 会場：横浜国際プール 日程：男子 女子 2月13日(金)～15日(日) |



① WTA155位とキャリアハイ更新中の坂詰姫野。②シングルス2で出場した小関みちか。③ダブルスの小堀桃子は2025年、森崎可南子は2024年の全日本選手権ダブルスのチャンピオン

3



①新加入した22歳の吉本菜月。②シングルス2でプレーした小林ほの香。③「橋本総業 HD」から「橋本総業」メンバーになった北原結乃と、この日本リーグを最後に引退する大前綾希子

3

橋本総業ホールディングス・女子結果

12月5日(金)

| | | |
|----------------|---------|-------------|
| 橋本総業ホールディングス | 3-0 | 九州電力 |
| S1 岡村 恭香 | 6-1 6-3 | 宮原 三奈 |
| S2 小関 みちか | 7-5 6-1 | 吉松 凪沙 |
| D 森崎 可南子／小堀 桃子 | 6-0 6-0 | 本田 恵琉／長澤 由佳 |

12月6日(土)

| | | |
|----------------|---------|------------|
| 橋本総業ホールディングス | 3-0 | センコーグループ |
| S1 坂詰 姫野 | 6-3 6-4 | 猪川 結花 |
| S2 小関 みちか | 6-3 6-2 | 齋藤 瑠奈 |
| D 森崎 可南子／小堀 桃子 | 6-1 6-1 | 橋 薫乃／矢崎 梓紗 |

12月7日(日)

| | | |
|----------------|---------|-------------|
| 橋本総業ホールディングス | 3-0 | フクシマガリレイ |
| S1 坂詰 姫野 | 6-0 6-1 | 木塚 有映 |
| S2 岡村 恭香 | 6-0 6-0 | 宮内 梨奈 |
| D 小堀 桃子／森崎 可南子 | 6-1 6-1 | 堺 愛結／吉川 ひかる |

橋本総業・女子結果

12月5日(金)

| | | |
|----------------|---------|------------|
| 橋本総業 | 3-0 | フクシマガリレイ |
| S1 吉本 菜月 | 6-1 6-0 | 高橋 礼奈 |
| S2 小林 ほの香 | 6-2 6-1 | 木塚 有映 |
| D 大前 綾希子／北原 結乃 | 6-1 6-0 | 堺 愛結／清水 梨沙 |

12月6日(土)

| | | |
|----------------|--------------|---------------|
| 橋本総業 | 3-0 | エームサービス |
| S1 吉本 菜月 | 6-4 4-6 10-7 | 松田 美咲 |
| S2 小林 ほの香 | 6-1 6-2 | 加治 成美 |
| D 大前 綾希子／北原 結乃 | 7-6(4) 6-0 | 鈴木 沙也伽／田中 菜冴美 |

12月7日(日)

| | | |
|-----------------|---------|------------|
| 橋本総業 | 3-0 | センコーグループ |
| S1 吉本 菜月 | 6-3 6-0 | 猪川 結花 |
| S2 北原 結乃 | 6-4 6-2 | 齋藤 瑠奈 |
| D 大前 綾希子／小林 ほの香 | 6-2 6-1 | 荒武 芽菜／橋 薫乃 |

小堀桃子が全豪オープン本戦に出場決定！

2025年11月25日から29日にわたり中国・四川省成都で開催された「AO アジアパシフィック・ワイルドカードブレーオフ」のダブルスに出場した小堀桃子が見事に優勝。清水綾乃との抜群のコンビネーションで、全豪オープン本戦ワイルドカードを獲得した。小堀は、「私にとって初めてのグランドスラムです。プロ転向10年目の年に、このような世界で一番の舞台で戦えるようになったのは、これまでずっとサポートしてくださった皆さまのおかげです。感謝の気持ちを忘れず、全豪オープンでも上を目指して頑張ります」と意気込みを語った。全豪オープンは2026年1月18日から2月1日まで、オーストラリア・メルボルンで開催される。



小堀（写真右）が初のグランドスラムへの切符を獲得

テニス
TENNIS

Q & A 素朴な疑問を聞いてみよう！



質問

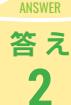
食事はどんなことを気付けている？

遠征先によっては
ご飯を炊いています。



**大会期間中は消化が
良くないものは食べない**

私は体重の増減が激しい方ではないので、何かを食べないようにする必要はほぼありません。ただ、大会期間中は揚げ物や牛肉系などをたくさん食べてしまうと、おそらく消化に力を使うことになる影響だと思いますが、次の日がとてもしんどい感じがあるので、あまり食べないようにしています。



**遠征先によっては
生魚、生野菜に注意**

海外の遠征環境によって、あまりよくないところだと、生魚は怖いから食べません。あとは生野菜やカットフルーツも食べないように気付けています。



**試合前には必ず
ご飯を食べる**

低血糖になりやすいので糖分が途切れないように、試合前は必ずご飯だけは食べるようになっています。体質的にパスタやパンだと血糖値が急激に上がるるので、眠くなりやすかったり、お腹にたまらなかったりするので、トータルで考えてご飯が一番なんです。遠征先によっては炊飯器を持って行くこともあります。自分でご飯を炊いています。炊飯器はオーストラリアで買ったもので、1.5号だけ炊ける、軽くて小さい物を使っています。

PROFILE



教えてくれたのは…

岡村 恭香 プロ

Yoka Okamura

1995年10月6日生まれ。岡山県出身。2014年6月にプロ転向。25年に初めて100位台のランキングになり、全てのグランドスラム予選に出場。キャリアハイは178位(2025年2月17日付)。25年の全日本選手権シングルスチャンピオン

働くサッカープレーヤー

SHUNYAのコラム

橋本総業の東京第1支店営業部に勤務している田中竣也が、異業種からの中途採用での仕事への向き合い方やサッカーへの情熱をお伝えする！

サッカーの熱狂を仕事でも

2025年3月に中途社員として入社しました田中竣也です。10月からは東京第1支店営業部で働いています。担当のお客様からの見積もりの依頼と回答が主な業務です。

9歳からクラブでサッカーを始め、高校卒業後にはサッカー選手としてスペインとオーストリアでプレーしました。その後、日本のチームに加入し選手生活を送っていましたが、2025年シーズンを最後に「鎌倉インテル」チームからの引退を決断。今後は働きながら社会人サッカー選手として活動していくことにしました。

営業部に配属になってから約2ヵ月ですが、まず感じるのはサッカーと仕事のバランスがとても難しいという点です。サッカーの練習が火・水・木曜の19時半からあるため帰宅が遅くなります。仕事のスピードにまだ慣れない中で、練習時間を確保するのが難しい現実があります。仕事の

面でもまだ商品知識が少なく、お客様からの質問に対し、自分で調べ、理解し、回答にたどり着くまでに時間がかかってしまう状態です。慣れていない状態だけに、練習と仕事の両立でゆっくり休む時間が取れていませんが、体調管理は社会人アスリートとして常に直面する課題だなので、ペースを掴んでいきたいです。

仕事のスピードアップには、商品知識の習得が不可欠ですが、現状ではその知識がありません。そこで、知識不足を補い時間を短縮するために、GoogleのAI「Gemini」を積極的に活用しています。専門用語や聞きなれない言葉など、質問内容を都度Geminiで検索して調べています。今の自分にとって、最高の武器になってくれていますし、今後の成長にもつながると思います。同時に、所属する東京第1支店では、情報共有が非常に活発なため、自分のキャパシティを日々増やしていくことも必要だ

と考えています。

1日でも早く、1人で何でも即決・決断できるレベルになることを目指しています。商社という仕事柄、自分の仕事を支えてくれている人たちはたくさんいます。自分はまだ未熟ですが、応援してくれる取引先、社内の皆さんのために1日でも早く成長したいです。

サッカーは、プロを目指すという目標から始まり、海外でのプレーを経て、今は仕事では味わえない「非日常」を味わえるかけがえのない場所となっています。観客の直接の応援や、試合後の「良かったよ」という声が、再び頑張る力になりますし、1点取った時の観客との一体感や、試合に勝った時の高揚感は、仕事の中ではまだ味わえていません。

自分の経験値はどんなものにも置き換えることはできないため、サッカーは今後も続けていきたいです。自分で選んだ道だから、いま経験していることの1つ1つがこれから的人生にとって有益なものになるはずです。そう信じて、これからも挑戦を続けていきたいです。

PROFILE

田中 竣也

Shunya Tanaka

1997年4月18日生まれ。ポジションはフォワード。9歳でサッカーを始める。大宮東高校卒業後、スペイン、オーストリアのチームで選手として活動。帰国後は日本のチームでプレーし、2025年シーズンで『鎌倉インテル』から引退。

ゴルフ
GOLF

小西瑞穂がQTファイナルに進出！



2026年のステップアップツアーのシードが取れた小西瑞穂

2026年のプロゴルフトゥアーオークション資格を決める「クオリファイングトーナメント(QT) ファイナルステージ」が、12月2日(火)～5日(金)に茨城県の宍戸ヒルズカントリークラブで開催された。小西は92位となり、ステップアップツアーへ出場が可能となった。小西は、「完全燃焼です。2025年は手首の痛みにずっと悩まされて、シーズン途中からはQTがうまくいくことだけに視点を置いてやっていました。もちろんもっといい順位で終えたかったですが、今の手首の状態を考えると、ステップのシードを取れたことで最低ライン

はクリアできたと思います。2026年はプロ3年目になります。はやく結果で恩返しができるように優勝目指して一戦一戦、大切に戦います！」と、故障と戦いながらの結果だったようだ。

その他、寺岡紗弥香は2025年のヨネックスレディス3位、NEC軽井沢72ゴルフ2位など上位進出を果たしたことがあり、26年は準シードを獲得し、開幕戦から前半戦の出場が確定している。吉崎マーナはプロテストに合格し、ほとんどのステップアップツアーに出場できる模様。2026年も活躍を期待したい。